

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 市民説明会
日時	平成 27 年 8 月 31 日（月） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 34 分
会場	中野市立平岡小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 54 人・教育委員会出席者 11 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 6 人・報道機関 1 人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

1 開会 進行：教育次長

2 あいさつ 教育委員長

3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明

4 質疑

意見

- 平成 32 年に統合した場合という資料を出していますが、平岡小学校が開始されるのは平成 30 年です。なぜ平岡小学校が開始される時の数値を入れてこなかったのでしょうか。

回答

- 統合予定の年度はそれぞれ違いますが、5年後の推計ということで統一させていただきました。

意見

- 平成 32 年に 6 年生が 74 人ということは、平成 31 年に 5 年生、平成 30 年に 4 年生で、3 クラスになります。今平岡小は 2 クラスなので、1 クラス 37 人に押し込む形となります。方針の資料 1 の 2 ページにもありますが、長野県の基準が 30 人となっているのに、このような形であるところの対策は考えているのでしょうか。

回答

- 子どもの人数が多くなっても、今も学校で色々指導方法の工夫をしていますが、算数、数学、英語といった教科については、少人数のグループに分けて学力を上げようというようにことで、県から先生が加配されます。

意見

- 数学算数はそのような形であることは承知しています。もし統合となった場合、現状の平岡小学校の教室の数では、3 クラスの配置というのは不可能だと思います。音楽会などの大規模な学校行事では、人数がいなければだめなのは当然承知しております。ただその反面、受入側という立場で考えると、劣悪な環境になってしまうようでは大変困ってしまいます。これからの平岡そして高社地区を担っていく子ども達の大事なところでもありますので、そういったこともちゃんと腰を据えてもらえないと失敗しましたじゃすまされないことです。実際 37 人というクラスができるのか、今まで経験したことのない人数で保護者は不安です。友達とのコミュニケーションが大事なのはわかりますが、今までうまくやってきたのに、受入れすることによって出てくる不安、そして 32 年までの 3 箇年が非常に危惧しています。狭い中に押しこめるということがないよう要望いたします。

回答

- 限りある学校施設の中で、施設改善等はしていきたいと思います。

意見

- 小中一貫校というのはどういうことなのか説明をお願いします。

回答

- 学校教育というのは小学校6年、中学校3年と別々の教育課程で、ぶつ切りというわけではありませんが、切れていた部分が随分ございます。今後、小学校の6年間と中学校の3年間の指導単元を、一本筋を通していきます。例えば、社会科でいうと、小学校の6年で一旦終わり、中学に行けば地理や公民と途切れてしまうわけですが、そこを中学3年まで体系づけた教育課程にするということでございます。中学と小学校がすぐ近くにある、或いは同じ校舎を使うという校舎一体型ケースと、木島平のように小学校と中学校が少し離れている校舎分離型があります。一貫教育を進めるには今言ったような教育の中身を一本通すことが重要で、先生方だけでなく地域の皆さんにも学校教育の中身について色々ご支援をいただくようになります。校舎分離型は、先生方や子どもの移動もあり大変なこともあります。学校の行事も小中一つに考えてやっていくというようなイメージであります。

意見

- 小学校と中学が別々であっても教育委員会是一个なので、教育方針として一貫で出来るような気がしますがどうですか。

回答

- 今までのように小学校は小学校、中学は中学校でという教育も成り立ちます。木島平の小中一貫校のようなイメージを持っていただければと思います。野沢温泉も野沢学園ということで、やはり小中、若干離れておりますが一つのまとまりをもって中身で勝負しています。そんな所をまた目を向けていただければと考えています。

意見

- 学校選択制をしないこととする一番の要因はなんでしょうか。

回答

- あくまでも一般論でご理解いただきたい訳ですが、一番は生徒児童の偏り、強いて言えば男女の比率が非常に偏ることが懸念されます。それから二つ目は、あの学校には良い先生がいる、こっちの先生は指導法が良くない悪い先生がいるというようなうわさが広まり、良い先生がいる方に行くというようなことが出てくる場合があります。特に中学校では、進学率とか、部活が強い弱いとか、部活の指導で素晴らしい先生がいるとか、色々な要因で偏ってしまうことが懸念されるわけです。

意見

- なぜ、この質問をしたかと言いますと、統合案が小規模化を解消するための手段という形になってしまっていると思います。例えば、これから何十年先、更に小人数になればなるほど統合という形になって、極端なことを言えば最後、中野市には一つの小学校と一つの中学校というような形になってしまうかもしれないと。ですので、学校統合というものもあるかもしれませんが、少子化になった時の教育環境はどう作っていったらいいのかと考えれば、学校選択制も一部あるのかなと思います。今は35人という学級定数がある訳ですが、今の学校でいけば20人台とか10何人台の学級が存続しています。その学級は、一人ひとりに目が届いた、一人ひとりを大事にする教育がされていると思うのですが、統合することによって、70人とか70人近い人数になると1学級が30人以上超えてくる学級が出てきて、今まで20人ぐらいで先生たちによく面倒をみてもらっていたのに、統合することによって、そのような教育がやや薄れてしまうのではないかと思います。自然的にいけば何年か経つと、統合しても2学級ぐらいで1学級が30人を割るような人数の時期が来ると思いますので、そのような時期まで何年に統合するというのを決めるのではなく、その間は学校選択制という形をとってもいいと思います。

回答

- 中野市では学習が遅れがちであったり、支援が必要なお子さんには、市で支援員の先生を配置しています。かなり大勢の支援員さんが学校に入っていて、時には、担任の先生ひとりにそこへ支援員の先生がつく時もあり、学校の要望にできるだけ応えるようにしています。
- 学校選択制について、一般論で懸念されることですが、先生方に競争という意識が生まれ、うちの学校に子どもがいっぱい来るようにする、もっと言えば、いい所を見せる競争をあおるといったようなことも懸念されます。現段階では考えにくいと思っています。
- 日程的なことですが、それぞれ地域の皆さんや学校の先生方のご理解を得ながら、この案を進めていこうと思っていますので、このスケジュールに縛られているものではありません。

意見

- 中高一貫になるのですか。

回答

- 教育委員会では議した結果、ここに書いてあるように、校舎分離型の小中一貫校ということを考えています。

意見

- スケジュールを見ると30年については平岡地区、それから順次他の学校もやっていく訳ですが、同時進行で出来るとお考えですか。

回答

- 非常に難しい部分がございます。これから全地区周りまして地域の皆さんのお声を聞きながら判断したいと思います。

意見

- 統合で、教室が狭くなるのは困るのですが、今の木島平や信濃町も小中一貫であります、国はモデル校への支援もしてくださるそうです。ならば、全部やるのではなく、まずここをモデルにして失敗しないように成功させるぐらいの意気込みで腰を据えてしっかりとやっていただきたいと思います。学校が大きくなって出来ることはたくさんあると思いますが、その反面、今の環境が変わるのが一番怖いです。5年後 32年を見るのではなく、10年後、20年後に、この平岡地区、高社地区を背負って子ども達を育てるつもりで、プロジェクトを確実にやっていただきたいと思います。

意見

- この平岡小学校に仮に統合すると、平岡管内の子は家から学校まで距離が変わるわけではないので大きな差はないと思いますが、前段で説明会をされた科野、長丘の方は、自分の小学校の方から平岡に来るにあたって、どのような意見や要望があったのでしょうか。

回答

- 科野と長丘地区の両方で出た意見ですが、まず一つは、少人数の良さ、子ども達が少なければ少ないほど先生の手が入るという教育環境の良さ、二つ目は、数字やお金の問題を中心に考えるのではなく、子どもの大事な将来を願うという視点で考えていかなければならない、三つ目は、今まで各小学校で大事に培ってきた地域の教材学習は、一緒になった時そのような勉強が出来なくなるという危惧、あと通学の関係では、交通安全を大事に考えて欲しいというようなことでありました。

回答

- 今まで意見は、会議録としてホームページ公開する予定です。もう一点追加ですが、距離が長くなるとそれだけ負担がかかるので、スクールバスの充実をお願いしたいという意見も出ております。

意見

- 教育の現場で気になっているのが学力、それといじめとか不登校という問題があります。そういった中で小中一貫ということで、同じ小学校のメンバーがそのまま中学校へ上がります。今までのように中学校に上がった時に違う小学校から来るという状況があると、きっかけとして今までの不登校が解消することもあると思います。それが小中一貫となると、もうその先3年間、お先真っ暗みたいなことになるのではないかと若干懸念しています。

回答

- 不登校、いじめの関係では、6年から中学へ行く時に環境が変わり、新しい生活に馴染めなくなり不登校なるというケースがあります。小中一貫校の場合には、中一ギャップと言いますが、そのような段差をなくすということで実際に効果を上げている例がございます。中野市全体では、不登校はすいぶん少なくなっています。でも現実不登校のお子さんや学校行っても教室へ入れず保健室などの場所に通うお子さんもございます。各学校では、担任の先生のケアや家庭との連絡など、大変な努力をしてくださっています。場合によっては、ソーシャルワーカーや相談員の先生にも入ってもらい、なんとか集団の中へ馴染むように努力をしていますが、今後も継続していきたいと思えます。

意見

- 垣根が無くなって、いい効果が出るということも確かにあるとは思いますが、逆に、今のメンバーの中で学校に行けなくなった子供は結局、その先3年間同じことが起きると思えます。そんな時に、学校選択制を余地として残しておく、違う学区の中学校に行けるっていうのがあれば、逆に中学校に行けるようになるのではないかと思えます。

回答

- 確かに、小から中へ行く時、或いは、中1から中2の時、学校を代えてみるというようなケースもありました。しかし、結果的には、お子さんの心のダメージが大きいものですから、なんとも言えません。

意見

- 今までの説明だと、地域の方のご意見や学校の先生の専門的な意見を聞いて、いい案を出すとおっしゃっていますが、でもここで出されてきたものは2年間かけて選んできたものだから、適正という言葉がきっと合うのかなとも思えます。今日お集まりの皆さんは60人ほど、市庁舎の改築に説明会は10何人。これは、少なくとも子どもさんを持っておられる方が関心を持っておられるということです。本当に皆さんの意見を聞きたいとか、参加されない方はホームページの方へ出してくださいと説明されていますが、これだけの良い資料があるのですから、もっと事前に学習出来れば、色々意見を言えたような気がします。突然提示されても、ちょっと話しにくいかなという方もいらっしゃるのでは、このような重要資料については、事前に各戸で見れるような形にしていきたいと思えます。
- あとは、学校の問題ではなく地域のことですが、家を建てたり、新しい生活をしようと思った時に、学校までの距離が5キロ、7キロある、電車は木島線は走ってない、バスは1時間に1本しか通らない。スクールバスはあったにせよ、社会的環境を見たときに、そのような状況が益々地域づくりに影響する部分があると思えます。学校だけではなく、総合的に中野市としてどのように考えているのでしょうか。

回答

- 今の所ホームページにも載っていますが、各支所と本庁の総合窓口に本日の資料と意見をいただく用紙も備えてございます。そこに自由に記述していただいでご意見いただければ、こちらの方すべて目を通します。資料の事前配布については、参考にさせていただきます。

回答

- 地域についてですが、この北部の4小学校の地域においては、若干の温度差がございすが、学校に対して支援チームを組んでいただき、学校を支えているという地域もございすが、そのような地域の皆さんがもし一つになるとすれば、地域の伝統文化も併せて学校を継続してご支援していただくことが大切です。これは現在、県でも進めている信州型コミュニティスクールという事業になりますが、地域の皆さんが一体となって子どものために何ができるかを考え、支援していただける方法を考えていっていただくようお願いします。

意見

- 小中一貫校を検討されていることを聞きまして、若干、不安を感じています。先進的に実施している地域も視察等されたかと思いますが、中野市としては、メリット、デメリットをどのように掴んでいるのでしょうか。

回答

- 感じたことは、大きい子どもが、小さい子どもの面倒を見る、また、小さい子どもは、大きいお兄さん、お姉さんの姿を見ることによって、お互いに相手を大事にするという自尊心が育っています。
- デメリットでは、小中の先生方同士、子どもたちをどのように指導していくかという打ち合わせの時間の取り方が大変難しいということをお聞きしました。

意見

- 放課後児童クラブとか教室とかの形で、学校が終わった後の子ども達の生活を、親が帰って来るまでの間、面倒を見ていただける施設がありますが、平岡小学校の場合には希望者がどんどん増えてしまい、低学年と高学年を2回に分けて体育館を使わないと、満杯になってしまうという状況が今あります。指導員の先生達も手いっぱいではないかという現状です。これで統合した場合に、この放課後の対策はどのようなシステムになるのか教えてください。

回答

- 市内の放課後児童クラブは、どこも子どもさんがいっぱいだというのは聞いております。それだけ共働きのご家庭も多くなっているのだと思います。それで冒頭の説明でも申し上げましたが、市の放課後関係の部署と相談して、どのようにもっていくか、スクールバスの時間はどうするかなど、細かいことを検討していく必要があると思います。

意見

- そのような点も配慮していただいて、統合で子ども達の環境が悪くならないようにしてほしいです。

意見

- 放課後だけではなく、学校が統合することによって、学校の休日、土日、夏休みなど、行動範囲がものすごく広がるのではないかと思います。元気のいい子ども達は自転車で、又は歩いたりして、この平岡から科野や長丘の地区まで遊びに出かけていくことも考えられますが、安全性とか行動範囲についてはどのようにお考えでしょうか。

回答

- 自転車の使用許可範囲など、具体的にまだ詰めていません。自転車の乗り方や交通安全教育については、各小学校中学校で決まりがありますが、それもすり合わせをしなければならないと思っております。

意見

- この会は何時までというような時間を考えているのでしょうか。

回答

- 特に何時までとは決めておりませんが、2時間ぐらいを目安に考えています。

意見

- 先ほどからも話がでていますが、地域づくりについてですが、平岡の小学校へ子どもが通学するようになると、倭地区や科野地区などは小学校が無くなる訳です。これは地域が変わってしまう大きな原因になると思います。科野地区には保育園がありますが、倭地区は小学校も保育園も無いこととなります。そうなれば、益々、老人問題などが非常に大きな問題になります。地域の高齢者がどうやって暮らしていくか、例えば、科野、倭、長丘では農協の支所に行っても、窓口でお金を下ろす事務を担当する方がおられないと聞いております。そのような事も含め、地域の高齢者は、とても生活しづらくなっています。そのようなこともあり、小学校が無くなった後、中野市では市全体で何か考えているのでしょうか。

回答

- 地元の皆さんの要望を踏まえ、小学校の跡地利用を全市的に考えて、有効に使わせていただきたいと思っています。

意見

- 高社中学校、高社小学校とういような形で、なるべく高社中学校の近くへ、新しい小学校を建てるというのは無理でしょうか。平岡小学校へは吸収合併のような感じを受け、対等にするには、新しい学校で学習するのがいいと思います。もし、予算がないなら予算が取れる

時でいいと思います。平岡の中はきっと高社小学校なんて行くのはいやだとおっしゃる PTA の方もいるかもしれませんが、それは平岡のエゴだと思うんです。科野や倭、長丘の方たちも、ここへ来るよりは高社中学校の側の新しい小学校に行く方が対等の統合だと思うのではないのでしょうか。妥協案として、将来、高社小学校を作るという構想の基で、長丘、倭、科野の子どもがそこに先に入るというような形をとるために、部分的に校舎を建てて、9 年間の小中一貫教育をすすめるというのも、地域の方に受け入れてもらう方法だと思います。

回答

- 教育委員会の中では、吸収という認識はありません。お互い対等という立場で、名称、校歌など、これから議論しなければならないことだと思っています。

回答

- 今回の統合案の中では、高社中に小学校を持っていくことは考えておりません。現時点では、あくまでも現小学校で対応することで考えています。

意見

- やはり高社中学校の近くへ小学校を建てるということは考えてないとすると、科野や倭や長丘の方からすれば、平岡へ吸収されると考える方もいますので、考え直していただきたいと思います。
- それから、空いた教室や校舎ですが、平岡の校舎もいずれ空くだろうと私は思っていますが、科野や倭や長丘の校舎も空いてしまいます。倭地区、科野地区、長丘地区、平岡地区として地域のまとまりを高めていくためにも、市全体でいろんな部署も入って、校舎の跡利用を考えていただきたいのですが、何か方針はあるのでしょうか。

回答

- 空いた教室や学校につきましては、全市的に検討していく方向です。

意見

- 今日の会議は平岡のことだけ考えなくてもいいわけですね。平岡のことだけ考えて、平岡のモンロー主義とかエゴイズムだとかにも繋がりがねませんから、全市のことを考えていくということは、どの会場でも進めていただきたいと思います。中野小学校の問題ですが、延徳と日野小学校が計画によると一緒になるような案ですが、中野小学校は規模が適正だから何もしないというのは、公平なのでしょうか。これは、中野小学校は中野の町場で中心校だから何もしないと、そんなような感じがしてなりません。中野小学校も過去に過大校だと言って、延徳だか西条の辺へ校舎を二つに分ける案がありましたが、これも中野の町の住民によって否決されました。やはり中野地区は中心校みたいなものがあるのではないのでしょうか。延徳と日野だけ先に南宮中学に入れて、中野小学校へは入れないという方向なのですか。

回答

- 延徳小学校と日野小学校を先に統合して南宮中学校へ入れるというようなことは考えておりません。あくまでも、延徳小学校を校舎として使うということで、その先にまた中野小学校と統合することも考えておりません。過去に、今のサッカー場のある場所に分けるという話もございました。当時は、千五六百名というような児童数があったように記憶しております。現在はもう中野小学校も 800 名ぐらいということで、1000 名を超える大規模校ではなくなったということもあります。延徳小学校と日野小学校も対等という考えで、校名なども、今後しっかり考えていきたいと思っています。

意見

- グローバルの話もいいですが、今日はこのように保護者の方が子どもが家にいる中で来てくれているので、平岡のことを中心にやっていただければありがたいです。そのような大きい話は、意見を投函するということですので、そちらで集約してもらえたらありがたいです。長時間やっても非常に大変なので、お願いします。

回答

- 意見については、意見の用紙もありますのでそちらも使っていただければと思います。

意見

- 資料の 4 を見ますと、平成 27 年 5 月 1 日現在では、4 小学校の児童数の合計が 440 人ですが、平成 32 年ですと合計が 383 人になります。一人ひとりの子ども達を大切にするという観点で見たときに、今は各小学校に 1 人ずつ 4 名の養護教諭の方が 440 名の子ども達を見ているわけですが、統合されますと、383 名の子ども達を 1 人の養護教諭の方が見られるということになるわけです。県の基準ではおそらく 800 名程度にならないと養護教諭は 2 名にはならないと思うので、今様々な課題を抱えた子ども達がいる中で、1 名の養護教諭が 383 名の子ども達を見ると非常に負荷が大きいことだと思います。今年度、佐久穂町も 3 小学校 2 中学校が統合しましたが、地域の保護者の皆さんからの声等を聞きながら支援員という形で加配されたということを伺っておりますが、中野市はどのようにお考えでしょうか。

回答

- 養護教諭の配置基準はそのとおりですが、支援員については、保健室、それから普通教室含めて、状況に応じ、現場の先生方の声を聞いて市でなんとかカバーできるように努力したいと思っています。

意見

- 徒歩で通学している子ども達がバス通になることが想定されるわけですが、今までと違った方法で違った学校へ違った友達と一緒に生活することで、とりわけ、統合当初の子ども達の精神的な不安定感というのがものすごく大きいと思います。ですので、児童生徒数がもう少し減ってからの統合もありではないかと思えます。

- それから、確かに中一ギャップについては小中一貫校では、発生しにくいことは、東京方面の様々な統計的なデータで示されております。一方で、先ほどお兄さんが子ども達を指導してくれてというようなお話もありましたが、小学校5・6年生がリーダーとしての役割を失ってしまうというデメリットもあります。今は小学校5・6年生がリーダーとして低学年の子ども達の面倒を見る、そして、中学生になったら中学3年生が1・2年の面倒を見るということで、9年間で2回のヤマを設けることができます。一貫にしてしまうことによってヤマが一つ、子ども達の成長のためのチャンスを1度潰してしまうことになる、これは非常に残念なことだと思います。また、物理的にも、小学校の授業が45分、中学校の授業が50分と時間割を合せること自体が無理ですが、小中一貫ということは、中学の先生が小学校に来て教科担任制で授業をされることを想定しておられるだろうと思いますが、そうすると逆に小学校の先生も中学へ行って授業をするってことになります。例えば、信濃町の小中学校では、給食準備の時間に担任がいない中で子ども達が準備をするというケースもあって、そこへ町として支援員を加配しているというようなこともしておいでのようにです。小学校の3年生までは、すべてのクラスに副任を付けているといった手厚い対応を信濃町ではしております。中野市もそこまでされるつもりがあるかわかりませんが、様々な不都合を考えると小中一貫が必ずしも世の中で言われているような大きなメリットをもたらすものとは考えにくいと思います。様々な研究が今現在進行中ですので、そういったものを充分分析しながら、もう少し考えていくことが必要ではないでしょうか。

回答

- 現在、小学校同士で合同授業や、合同の行事を実施しています。その活動を見させてもらいましたが、本当に最初から一緒にいるような雰囲気でした。担任の先生に聞いてみましたら、いろんな所に行ったりして、お互い良く知ってるんです。とのことでした。お互いに合同でいろんなことをやるということも、これからもっと大事になるかと思えます。
- 一貫校のデメリットのお話が出ましたが、中野市でも充分学校の先生方の声を聞いて支援員を配置しているつもりではありますが、教職員の負担感の問題もありますので、十分考慮して進めたいと思います。

意見

- 小中一貫をやっているところは確かに教職員の負担感が大きく、県の調査でも、今現在の県内の小中学校の教職員の平均の超過勤務が月で大体50~60時間になっており、小中一貫をやっているところは、更に時間が増えているという実態がありますので、こういった問題も、是非、同時に考えていただきたいと思えます。
- 最後にもう一点、学校規模についてですが、世界保健機関というWHOという組織がありますけれども、WHOは一つの学校の児童生徒数は100人程度が望ましいというような数字を出しています。かつて、学力で世界一位となったフィンランドは、平均を取っても大体一つの学校に100名程度の子ども達で授業をするという実態があります。そうゆう数字と照らし合わせますと、中野市内の小さな規模の学校は、WHOが言っている数字にぴったり合っているじゃないかと、文部科学省は、12学級から18学級と言っているのですからその数からする

と大分桁違いですけれども。今のこの中野市の特に小さい学校は、本当に一人ひとりの子ども達がじっくり学んで育っていくには、本当に適した環境だと思います。そういった点も踏まえながら、様々な検討を加えていただければと思います。

意見

- 平成 30 年の時に 1 年生で入学するので、この資料 5 からいくと平成 32 年には 3 年生になりますが、そうすると、統合しなかったら 43 人、統合すると 69 人、これを 2 クラスに分けると 34 人と 35 人、30 人規模の学級ですと、ギリギリ 35 人で少し不安があります。1 ページに、適正規模と適正配置の基本的な考え方がありますが、そこの 4 番、一定の教員数の確保により、児童生徒と向き合える時間が増え、学校の運営組織の効果的な編成が期待できるとか、6 番の安全で十分な活動場所が確保できる学校規模という所に本当にあっているのかなあとと思います。今の平岡の教室に、34 人、35 人が入ると、本当に安全面が保たれるのだろうかという不安が私だけではなく、他の保護者の方も感じていると思います。

回答

- 子どもたちの人数が多くなると 1 人の先生の見る子どもの数が増えるということで、安全面に不安があるという一方、この人数であると、グループ学習とか、切磋琢磨しながら考え方を述べあうとか、そういう活動ができるようになります。ただ、小学校 1 年生は一番手がかかります。給食指導一つとっても大騒ぎでございます。先ほどから申しているように、場合によっては、市の支援員の先生方に入っていただくよう、しっかり見ていきたいという風に思っています。

意見

- いろいろな子ども達がいるので、やっぱり一年生に上がるときに、本当だったら、今のこの 20 何人であればしっかり見ていただける感じがあり、急に 34・35 人となった時は大変だと思います。そんな所も大事に考えていただきたいと思います。

意見

- 長野県は信州コミュニティスクールを推進するという話ですが、それは地域で子どもを育てるという観点だとわかりました。これで学校が統合してしまうと、倭、科野の地域には子どもがいなくなり、地域の人たちとのコミュニケーションの取り方など、うまくいくのかどうか心配です。
- あと、1 クラスが 30 何人になっても不登校の子どもなどがいた場合、保健室の先生や支援員の先生が来てくれたり、市の方から援助が来るという話ですけれども、一番子どもの側にいるのは、担任の先生だと思います。その先生に子どもが S O S を出した時にちゃんと受け入れてくれるのか、これで本当に 30 何人になった子ども一人ずつに目が行き届くかどうか、それが心配です。目が行き届かなかった場合や不登校や、今この世の中、子どもが自殺してしまう場合に、学校の関係者、地域でちゃんと見守っていますというニュースを見ると本当に

そうなのかな、本当に子どもの気持ちに添った教育がなされるのか心配です。信州コミュニティを推進するに長野県としては、どのように考えていくのでしょうか。

回答

- これからの信州型コミュニティスクールは、それぞれの小学校で学校を支える運営協議会という組織が構築された場合、それぞれ集まっていただいて、すり合わせをしていただく必要があります。地区の育成会と連携して、土曜、日曜、長休中には、小さい単位で行事を残す場合と、この地区全体で、なにかをやりましょうと、そのような事を皆さんで相談し、工夫していただきたいと思っています。
- それから、不登校の子どもがでて、一人の先生がとにかくたくさんのをやらなければならない状況になった場合、校長先生、教頭先生を中心に色々やっていますが、これからも何かお気づきの点があれば、地元の校長先生にも相談していただければありがたいと思っています。

意見

- 先ほど、木島平村の小中一貫は大変うまくいっているとお話しがありましたが、知り合いが木島にいて話を聞いたことがあります。木島は保育園も小学校も一つで、小中一貫は村全体で一つということで取り組んできたと思うのですが、中野市に関しては、まず統合ありきになっていて、そこに小中一貫がくっついているというのが、大変不安に思います。学童の関係でも、今まではいいよって言われてたことが厳しくなったり、そこの所長さんに言っても上の方からの指示がないと何とも言えないとか、ここだけじゃなくて他でも起こっているのも何とも言えないとか、そうゆうピリピリした空気は子ども達も感じ取っています。やはり、統合で子ども達の数が増えることで、現場では違うことがいろいろ起きて子ども達にも影響があると思います。小中一貫教育でも違う面での問題がでてくると思います。南宮と中野平は小中一貫じゃないですね、やはり木島のように小さな村全体で小中一貫をやるのと、中野市とは規模が違います。市内でもここは小中一貫やっています。他はやってないと言った時、違う問題が起きてくるとのではないかと思うのですが。

回答

- 統合するときには教育理念や教育の核になるものは何だろう、どのような子どもを育てたいのかという大事な視点がありまして、それぞれの学校で先生方自由に考えてくださいというわけにはいきませんので、市全体でどうなのかを、検討してまいりました。それを具現化していく、実際に具体的にやっていくためには、それぞれの地域で大事にしているふるさと学習、地域学習、放課後のクラブ活動なども関係してきます。この地区に関しては、今までやってきているそのような学習を考えた時に、小中一貫で学習するのがいいだろうという所に行きついております。

意見

- 木島平村の小学校と中学校は、確か近くにあると思うのですが、ここ校舎分離型ということで、やはり近くにあれば、小中お互いにいいのではないかと思うのですが。

回答

- 木島平の小中学校は、距離も離れています。その教育は、環境教育、人権教育など視点を5つぐらい設けて、それを小1から中3まで一本筋の通った教育としてしっかり計画されています。そこに30人ほどだったかと思いますが、それぞれの地域の皆さんが支援しているという感じですが、それが中野市にピッタリあてはまるという訳ではなく、あくまでも一例です。

意見

- やはり地域の皆さんの力があってこそその学校運営になってくるんだなということを改めて実感しました。この小中一貫も皆さんの協力が必要ですよということも訴えながら、こうゆういいことがありますという教育理念とか、そういったものも説明していただければありがたいと思います。

意見

- この基本方針ですが、11月に基本方針が決定するというお話されています。すでに9月に入りますので、あと2ヶ月ちょっとでどこまでのものを決定してくるのでしょうか。一つは統合問題で、もう一つは中高一貫の話もあります。11月までで、どこまでのものを具体的に決めるのか、おしえていただきたいと思います。
- 地域の皆さんがこうしたいという事に決まれば、学校の教職員もそれに向けて子ども達のために向かう訳ですが、今日聞いていると色々な質問が出てきました。実際、決めるときには、こうなりますというものを事前に見せていただけるのか、教えていただけるのか、そして更に、決定するのはどちらが、どなたがこの案で行くということを決められるのかお聞きしたいと思います。

回答

- スケジュールについては、案ですと11月に最終決定となっていますが、たたき台としてこの基本方針案を形で示してございます。今、皆様方から色々な意見を頂戴し、また、9月30日まで説明会もありますので、それらを総合的に判断していきたいと思います。11月にはその予定どおり行くかどうかは、不透明な部分がございます。最終的な決定案につきましては、説明会を開くかどうか検討いたしますが、ホームページ等でお示しするなりして、意見を聞いていきたいと思っています。決定者につきましては、最終的には、市長なり議会の決定が必要になります。

意見

- 決定をホームページのみというのはやめてください。みんながパソコンを持っているわけではないので、必ず新聞なり、ちゃんとそういった形で出して、その意見をまとめられるような時間的余裕をもたせてください。それが丁寧な説明だと思います。これで決まりましたという発表だけで終わらせるだけはやめてほしいです。

5 閉会 (PM8:34)